

V1.5.4 は、デジタル オーディオ ミキサー SQ シリーズのファームウェア メンテナンス リリースです。

Note 以下については、Allen & Heath の Web サイト www.allen-heath.com を参照してください。

- SQシリーズ製品の最新情報
- Allen & Heath サポートのナレッジベース

Note ファームウェア ファイルは、このアーカイブに *.bin ファイルとして含まれています。更新する SQ モデルの正しいファイルがあることを確認してください。

File: **SQ-5** = SQ-5UPG_1_5_4r3979.bin
 SQ-6 = SQ-6UPG_1_5_4r3979.bin
 SQ-7 = SQ-7UPG_1_5_4r3979.bin

Note SQ ミキサー フォーマット ユーティリティを使用して USB デバイスをフォーマットします。すべての USB デバイスが SQ ミキサーと互換性があるわけではありません。フォーマットし、ミキサーで正しく動作することを確認したら、デバイスを SQ ミキサーにのみ使用してください。

Note SQ には、安定性と冗長性のためにメイン イメージとバックアップ イメージがあります。更新が実行され、SQ が古いファームウェアで起動する場合は、更新を再度実行して、両方のイメージが同じバージョンで実行されていることを確認する必要があります。

Note SQ-MixPad または SQ4You アプリを使用している場合は、ファームウェアとアプリのバージョンの最初の 2 つの数字が一致していることを確認してください。

SQ ファームウェア V1.5.0 と SQ MixPad V1.5.2 に対応しています。
SQ ファームウェア V1.3.2 と SQ MixPad V1.4.2 は互換性がありません。

Note V1.3 以降、SQ-MixPad および SQ4You アプリは 64 ビットのみです。古い 32 ビット デバイスでの SQ のワイヤレス コントロールの場合、ファームウェアは V1.2.2 以降に更新しないでください。

Note 以前のバージョンのファームウェアで作成されたシーンとショーは、より新しいファームウェア リリースを実行しているユニットでリコールできますが、最新のファームウェアを使用して作成されたシーンとショーは、古いファームウェアを実行しているユニットでリコールできません。

Note USB ストリーミングは、Mac / Windows PC コンピュータと互換性があります。SQ は Core Audio に準拠しており、macOS 10.12 (Sierra) 以降で動作します。Windows コンピュータで使用する前に、Windows ASIO™/WDM ドライバーをインストールする必要があります。最新の SQ Windows ドライバーとインストール ガイドについては、www.allen-heath.com を確認してください。

Note SQ-Drive オーディオ録音とマルチトラック再生には、高い持続転送レートをサポートする USB ストレージ デバイスが必要です。すべての USB デバイスが完璧なパフォーマンスを保証するわけではありません。最良の結果を得るには、USBスティックドライブではなく、外付け HDD または SSD を使用することをお勧めします。

Note ファームウェア V1.2.0 では、SQ 用のオプションのアドオンが導入されました。利用可能なアドオンとインストール状況は、SQ の「ユーティリティ > 一般 > アドオン」画面で確認できます。アドオンは、shop.allen-heath.com から購入して、1 つのユニットをアップグレードするために使用できます。アドオンは一度インストールすると永続的であり、削除または転送することはできません。詳細については、Web サイトおよびリファレンス ガイドを参照してください。

V1.5.4

追加機能:

コンポーネントの変更後の GX4816 および DX168 ハードウェアのサポート。

修正された問題:

ID-1833: ミュート時に AMM に割り当てられた入力チャンネルで、メーターが正しく表示されるようになりました。

ID-1763: 概要セクションを切り替えた後、AMM フェーダーの位置が正しく表示されます。

ID-1762: MixPad を使用して AMM の数を切り替えるときに表示されるスロットの数を修正しました。

ID-1765: マルチタッチでオンスクリーン キーボードが閉じなくなりました。

ID-1817: シーン リストのコピー/貼り付け/リセットは、ユーザー権限を尊重します。

既知の問題 – SQ-Drive:

マルチトラックまたはステレオ録音中に電源を失ったり、デバイスのプラグを抜くと、現在の録音が失われる可能性があります。

既知の問題 – 利用できないアドオンをロードしようとする、オーディオが流れません:

インストールされたファームウェアで利用できないアドオンを使用するショーをロードすると、デフォルトのプロセッシングユニットがロードされますが、プロセッシングが切り替えられるまでオーディオは通過しません。これは、新しいファームウェアで保存されたショーが古いファームウェアを実行している SQ にロードされたときに発生する可能性があります。

既知の問題 – Mixer Config が変更された場合の MixPad との同期が正しくない:

卓で Mixer Config を調整すると、アプリが切断されて再接続されるまで、SQ-MixPad I/O Patch 画面で問題が発生します。このため、SQ-MixPad は、卓で Mixer Config 設定を適用してから接続してください。

既知の問題 – PC/Mac で更新すると、読み込まれた MixPad Offline の表示がコピーされません。

PC または Mac で SQ MixPad アプリを更新する場合、オフライン モードで読み込まれたショーは、新しいバージョンに自動的にコピーされません。ベスト プラクティスは、更新する前に現在読み込まれているショーを保存してから、新しいバージョンの MixPad をインストールし、作業中のショーを呼び出してから古いバージョンをアンインストールすることです。

以前のバージョン

V1.5.3 メンテナンスリリース

- コンポーネントの変更後の最新の SQ ハードウェアのサポート。

V1.5.2 メンテナンスリリース

- SQMADIオプションカードのサポート。
- ID-1807: 「読み込み中」のテキストがSQ-Driveマルチトラック画面に追加されました。
- ID-1814: PEQでRTAを同時に表示し、SQ-Driveを使用し、多くの制御メッセージングを導入すると、制御層がフリーズする可能性があります。
- ID-1816: 再パッチ後のFXリターンチャンネルの誤ったラベル付け。
- ID-1820: SQ-DriveはFXリターンを記録し、再パッチングの後に作成されていないファイル。

V1.5.1 メンテナンスリリース

- ID-1782: SQ-Driveの使用中にPEQでRTAを表示すると、表示がフリーズする場合があります。
- ID-1779: 少数のユニットに存在するローカル入力ソケットのノイズ。
- ID-1804: SQ-Driveへのマルチトラック録音は、状況によっては停止する可能性があります。
- ID-1794: 「Direct OutsをMEにパッチするときに、I / O画面で「ソケット使用済み」の表示が正しくない
- ID-1793: ラベルのないMEへのトークバック出力により、自動割り当てが正しくありません。
- ID-1792: システムの再起動時にNRPNフェーダーの法則が正しく呼び出されません。
- ID-1778: SQ-Driveステレオレコードメーターのラベルが正しくありません。
- ID-1596: Dante V2オプションカードをソフトリブートすると、DTプリアンプ制御が失われる可能性があります。

V1.5.0 機能リリース

- 利用可能な新しいアドオン: Bucket Brigade Delay、Echo、Hypabass。・PEQおよびGEQに「チャンネルRTA」が追加されました。
- 48kHz USBオプション (USB-BおよびSQ-Drive)
- SQ-Driveで最大32チャンネルを録音/再生できます。
- パッチを適用したチャンネルのみをSQ-Driveに記録します。
- USBメーター画面。
- 「Spill On Sel」オプションを含むDCAスピル機能。
- グローバルおよびシーンリコールフィルターの追加のDCAオプション。
- PEQのHPF / LPFオプション。
- I入力チャンネルのHPFスロープオプション。
- 「安全」パッチ適用スイッチオプション。
- I / O画面での1対1のブロックパッチ。
- チャンネルディレーをミリ秒、サンプル、メートル、またはフィートで表示します (気温は可変)。
- チャンネルディレーのより細かな制御調整。
- FX画面はSelオプションに従います。
- 現在のミックス/ DCAスピルが画面に表示されます。
- NRPNフェーダー法の「オーディオテーパー」オプション。
- 自動ネットワークIPアドレスの割り当て。
- V2 Danteオプションカードのサポート。
- SQ-MixPadの追加-完全なRTAサポート、3つのインスタンス、新しいルーティング画面、オンラインAMMコントロール、オンライン挿入セットアップ、オンラインシーン管理、安全なパッチ適用、オフラインシーンとライブラリ管理、オフライン「共有」機能、「URLフック」が追加されました。
- 新しいソフトコントロールの追加 - DCA スピル (ソフトキー、ソフトロータリーキー、フットスイッチ)、SQドライブアーム/レック/ストップ、FXミュート (ソフトロータリーキー)。
- ID-1577: 新しいフィルターを含むDe-Esserアドオンの更新。
- ID-1546: パッチ可能なトークバック出力 (ポスト「トーク」キー)。
- ID-1497: ファクトリライブラリに追加されたデフォルト名。
- ID-1696: ソフトコントロールオプションリストはアルファベット順にソートされています。
- ID-1033: SQ-Drive -記録されたチャンネル名をファイルメタデータに保存します。
- ID-1011: I / O画面にソケット使用の表示。
- ID-1394: I / O画面- ローカルAES出力ソケット制御が有効になっています。
- ID-954: L-C-Rスイッチングには、パン制御付きのリセットキーを使用します。
- ID-1758: 「ネクスト シーン」は、ミックス コンフィグで設定変更できる。
- ID-1675: SQ-Drive- 「PlaySingle」の後、現在のトラックが選択されたままになります。
- ID-1655: ミュートに設定されたソフトロータリーキーは、ミュートグループ/ DCAミュートを示すようになりました。
- ID-1654: FXパラメータに設定されたソフトロータリーは、利用可能な場合に正しく点灯します。
- ID-1564: MEにパッチされたタイラインに識別子が含まれるようになりました。
- ID-1498: PAFLとトークバックの設定に役割のリセットが含まれた。
- ID-1550: DynEQ / MultiBD -非表示のパラメーターを制御する可能性を削除しました。
- ID-1527: 保留中のギャングの変更は、ミキサー構成を変更すると破棄されます。
- SQ4You-190: チャンネルがミュートされたときに追加されるグループホイールインジケーター。
- SQ4You-192: ミュートしながらチャンネルを制御できます。
- ID-1749: 未使用のFXセンドがCHからすべてのミックスに削除されました。
- ID-1661: USB-Bモードがアクティブな場合、SoftKeySQ-Driveコントロールは無効になります。
- ID-1620: 0x7Fに等しいMSB / LSBを使用するMIDI NRPNは正しく応答します。

- ID-1569: USBシーン削除ポップアップに誤った名前が表示されることがありました。
- ID-1555: SQ-MixPadの「プッシュ」を使用すると、「アドオンを使用できません」というポップアップが正しく表示されます。
- ID-1535: SLinkオプションカードは、初回起動時に「I/Oカードが取り付けられています」アイコンを正しく表示します。
- ID-1595: シャットダウンプロセスは、一時停止するとSQ-Driveの再生をトリガーする可能性があります。
- ID-1563:チャンネルライブラリのリコール後、I/O画面のチャンネル名が正しい。
- ID-710: 再生ファイルを変更すると、録音時にオーディオアーティファクトが発生する可能性があります。

V1.4.4 メンテナンスリリース

- ID-1501: 工場出荷時のリセットにより、シーンの保存場所の状態が誤ってマークされる可能性があります。

V1.4.3 メンテナンスリリース

- ID-1558: チャンネル名と色は、ライブラリアイテムのリコール時にシステム全体で更新されるようになりました。
- ID-1552: MixPadのプッシュとシーンのリコールの後、メンバーはギャングから削除されなくなりました。
- ID-1559: GEQフェーダーフリップでは、SurfaceマスターフェーダーがMixPadに正しくリンクされています。
- ID-1553: 「Hall Choral HF」FXプリセット「Ref Detail」の値が修正されました。
- ID-1562: 一部のユニットで不要なノイズが発生するV1.4.2FPGAイメージを修正しました。

V1.4.2 メンテナンスリリース

- ID-1528: Multi BD4LMバンドにラベリングを追加しました。
- ID-1543: DAWコントロールドライバーを介してSysExネーミングに複数のDAWメソッドが追加されました。
- ID-1532: CH to All Mixは、連動チャンネルで機能するようになりました。
- ID-1529: Multi BDの「リンク」および「リリース」機能が修正されました。
- ID-1540: Dyn EQ4、およびMulti BDメータリングが修正されました。
- ID-1526: PEQライブラリのHPFリコールが修正されました。
- ID-1525: S静的アドレスのサブネットマスクは編集できます。
- ID-1523: 入力ギャングは12のメンバーで機能するようになりました。

V1.4.1 メンテナンスリリース

- ID-1504: ギャングは12のメンバーで機能するようになりました。
- ID-1508: コンソールにユーザーライブラリが保存されていない場合は、USBライブラリを転送できます。
- ID-1492: Dyn EQマスタートリムメーターのレベルが修正されました。
- ID-1493: MultiBD3およびMultiBD4マスタートリムメーターが修正されました。
- ID-1426: Soft KeyおよびFoot switch Scene Recallシーンリストが正しく更新されます。

V1.4.0 機能リリース

- 利用可能な新しいアドオン: DeEsser、マルチバンドコンプレッサー (MultiBD3 / MultiBD4)、ダイナミEQ (DynEQ4)。
- ギャング。
- シーンごとのリコールフィルター。
- USBシーンとライブラリのアーカイブ。
- シーンのコピー、ペースト、リセットおよびシーンごとのリコールフィルター。
- I/Oページソケット制御。
- SQ-MixPad接続の同期モード。
- レベル、パン/バランス、ミュート、MIDI NRPNコントロールのソフトキーの割り当て。
- モノマトリックスオプション。
- プリアンプのサーフェスオプション。
- プロセッシング画面はサーフェスオプションに従います。
- PEQバンドは画面オプションに従います。
- チャンネルライブラリの名前/色のオプション。
- PEQライブラリのHPFオプション。
- 新しいソフトコントロールの追加- MIDI プログラムの変更、ノートのオン/オフ、リッスンレベル。
- SQ-MixPadの追加- オフラインモード、SQチャンネル/ミックスオプション、PAFLセットアップ、チャンネルルーティング画面に従います。
- DX32モジュラーエキスパンダーのサポートが追加されました。
- グローバルリコールフィルターが再編成および拡張されました。
- SQ-Driveパフォーマンスメータリング。
- GEQフェーダーフリップでのRTAピークバンド表示。
- ソケット番号はチャンネルLCDディスプレイに表示されます。
- ストリップ割り当てにチャンネル番号とストリップ番号が追加されました。
- すべての画面上のリストに追加されたタッチスクロール。
- ID-1201: チャンネルミリ秒の遅延制御が改善されました。
- ID-1227: コンプレッサーパラレルバスドライ/ウェット制御が改善されました。
- ID-819: PADをオン/オフするときのチャンネルミュート時間が短縮されました。
- ID-620: フェーダーキャリブレーションプロセスは、再起動する必要がなくなりました。

- ID-720: dSnakeユニットが切断されたときの永続的なメータリングを削除しました。
- ID-1008: ミキサーをシャットダウンすると、SQ-Driveの録音が正常に閉じます。
- ID-1149: ユーザー権限を使用して正しくブロックされたミックス設定のリセットボタン。
- ID-1044: プリアンプのリコールがブロックされたときにフィルタリングされた入力パッチ。
- ID-1266: SQ-Driveシークバーは、画面の最初の起動時に正しく表示されます。
- ID-1276: SQ-最大長までのドライブ録音では、再生中に2つの録音がリストされなくなりました。
- ID-565: 右センドが他の場所に再パッチされると、ステレオインサート左が正しく切断されます。
- ID-1390: ミックスステレオ/モノラルを切り替えるときの誤った出力パッチの問題を修正しました。
- ID-894: 挿入LEDは、シーンのリコール時にステータスを正しく表示します。
- ID-807: FXライブラリアイテムは、インサートとして保存されたときにドライ/ウェットレベルを含むようになりました。
- ID-563: 挿入ポイントのイン/アウトステータスは、作成または編集時に保持されます。
- ID-1307: ミックスチャンネルをMEシステムに送信する際のステレオフラグの修正。
- ID-364: Mix Ext Inに使用可能なプリアンプがない場合、プリアンプのサーフェース制御はトリムに影響しません。
- ID-1339: AR84タイラインパッチは、電源を入れ直した後も持続するようになりました。
- ID-1271: ルーティング画面が開くとLHSから表示されるようになりました。
- ID-1287: 出力AFL設定を切り替えるときのLRのAFL / PFLの不整合を修正しました。

V1.3.2 メンテナンスリリース

- IDJ1280: IDEEPコンプレッサー「PeakLimiter76」の2つのユニットに誤ったスキンが表示されました。

V1.3.1 メンテナンスリリース

- SQ-MixPad - DEEPコンプレッサーとGEQプラグインのコントロールの追加。
- ID-955: 問題のある既知のシステムでのUSB-Bストリーミングの断続的な歪みを修正しました。
- ID-351: xHCIコントローラーを使用する場合のUSB-Bストリーミングでのドロップアウトの可能性の低減。
- ID-730: ネットワークバッファの動作が改善され、デバイスへの接続不良をより適切に処理できるようになりました。
- ID-749: ネットワーク上のデバイス接続が悪いためにデスクがフリーズする可能性が低くなります。
- ID-1256: SQ-Drive -マルチトラックおよびステレオ再生メーターは、関連するSQ-Drive再生ウィンドウにのみ表示されます。
- ID-1247: SQ-Drive -マルチトラック録音での断続的な歪みの修正。
- ID-1254: SSQ-Drive -再生用にマルチトラックをロードしても、ステレオ再生で問題が発生しなくなりました。
- ID-1255: SQ-Drive -マルチトラック録音がファイルの終わりの数秒前に停止する可能性がある問題を修正しました。
- ID-1203: DEEP Tube Stage Preampメータリングは、ステレオチャンネルとモノチャンネルを切り替えるときに正しく表示されるようになりました。
- ID-1238: GUIレイヤーが画面上で順番どおりに表示されない問題を解決しました。
- ID-1244: ミックスを選択するとチャンネルストリップが正しく表示されない問題を解決しました。
- ID-1252: レイヤーを切り替えるときにチャンネル名が誤ったチャンネルに適用される可能性がある問題を解決しました。

V1.3.0 機能リリース

- SLinkおよびWavesカードのサポートが追加されました。
- DX164-Wのサポートが追加されました。
- 利用可能な新しいアドオン: DEEP 16T、16VU、Mighty、Opto、Peak Limiter76コンプレッサー、プロポーショナル、DiGi、ハイブリッドGEQ。
- パッチ可能な出力を備えた新しいリッスンバス。
- マスターフェーダーの「リッスンレベル」モード。
- ミックス設定の役割をリセットします。
- タイラインパッチ。Input Patch Libraries。
- PAFLへの外部入力。
- パッチ可能なPAFL出力。
- ユーザー権限。
- コンプレッサーの「ダッカーモード」が追加されました。
- MIDI、割り当て可能なソフトロータリーキー機能を含む追加のソフトロータリーオプションに加えて、表示値の追加と「表示」キーを使用した表示。
- PEQのタッチアンドドラッグコントロール。
- SQ-MixPadの追加-ユーザー権限、I/Oパッチ、FXパラメーターおよびSigGenコントロール。
- ID-1002: FAT以外のファイルシステムを備えたUSBドライブをSQミキサーでフォーマットできるようになりました。
- ID-831: SQ-Drive-.wavファイルの拡張ファイルタイプのサポート。
- ID-1007: SQ-Drive -ドライブの障害と無効なフォーマットのエラーレポートを追加しました。
- ID-222: 画面上のボタンとパラメーターのタッチ領域が改善/増加しました。
- ID-914: AMMストリップの色がチャンネルの色と一致します。
- ID-384: SQ-Drive -より高速なショーストレージ。
- ID-930: 再起動後にAMMシーンセーフアイコンが正しくない可能性があります。
- ID-932: 出力バランスを右に設定すると、ステレオ出力の左側にオーディオが表示されます。
- ID-925: ソフトロータリーコントロールのスケールと加速が改善されました。

- ID-919：SQドライブからのステレオ再生は、番組のリコールまたは電源の入れ直し後に歪むことが
- ID-454：PAFLにミックスを選択した後に設定を変更すると、PAFLフォローミックスの動作が修正されました。
- ID-1108：dSnakeモードの場合、SLinkチャンネル17~24の信号のレベルが低下する可能性があります。
- ID-1114：SQ-Drive -停止ボタンと停止時のシーク位置の動作を修正しました。
- ID-1035：SQ-Drive -再生中のシーク位置の動作を修正しました。
- ID-1021：SQ-Drive -一時停止中の経過時間と残り時間を正しく表示します。
- ID-1032：SQ-Drive -新しいトラックが選択されている間トラックの再生を続行します。
- ID-466：SQ-Drive -ラップアラウンド（すべて再生）動作、現在のトラック表示、コントロールの外観など、複数の改善。
- ID-772：USBソースがshowで正しく保存されるようになりました。
- ID-606：名前を変更したときにソフトロータリーディスプレイが正しく更新されるようになりました。
- ID-479：LFおよびHF幅ロータリーコントロールは、シェルモードがオンまたはオフになったことを示すために、
- ID-641：パッドまたは極性に使用した場合のソフトロータリーキーの照明を修正しました。
- ID-921：メインレベルに設定されたソフトロータリーは、チャンネルが選択されていない場合でも表示が持続します。

V1.2.2 メンテナンスリリース

- SQDanteカードのサポートが追加されました。

V1.2.0 機能リリース

- D-Classic自動マイクミキシングが追加されました。
- DXハブのサポート。
- 「Chorus」と「NooPhaser」のFXユニットが追加されました。
- 割り当て可能なチャンネルカラー。
- ファクトリプロセッシングライブラリが追加されました。
- PAFLソースポイント選択への入力が増加されました。
- ID-839：ポート転送を許可するようにUDPポート番号を修正しました。
- ID-784：PEQ画面の周波数と幅の値をハードウェアに一致させます。
- ID-739：FXライブラリにカテゴリを追加します。
- ID-447：チャンネルを選択する前に、「処理中」または「ルーティング」画面キーの選択を有効にします。
- ID-852：チャンネルステレオステータスを変更すると、チャンネル設定が正しく呼び出されませんでした。
- ID-812：ステレオ幅の変更により、チャンネルをモノラルに戻すときに問題が発生する可能性があります。
- ID-804：AR / ABユニットは、ドロップアウトするか、更新モードに入ることができます。
- ID-803：静的IP設定が正しく更新されない
- ID-723：SLink入力チャンネルのゲートサイドチェーンソースを「セルフ」から変更すると、オーディオがミュートされます。
- ID-726：SQでPAFLを選択すると、MixPadは表面の「Sel」を変更します。
- ID-721：「PAFLフォローミックス」は「フェーダーフリップ」モードでは機能しません。
- ID-468：SoftRotaryでレベルが変更された場合、マスターフェーダーは更新されません。
- ID-437：シーン名を変更しても次のシーンは更新されません。
- ID-634：SQ-MixPadアプリへの接続が悪いと、サーフェスがフリーズする可能性があります。

V1.1.0 機能リリース

- 「チューブステージ」DEEPプリアンプモデルが追加されました。
- SQのサポート-MixPadアプリが追加されました。
- ID-536：ライブラリはリコール時に閉じます。
- ID-478：挿入画面に割り当て解除ボタンが追加されました。
- ID-626：プリディレイをソースとするミックスチャンネルのPAFL。
- ID-702：グルーブルーティングが非永続的です。
- ID-290：セカンダリリモートオーディオユニットが正しく列挙されています。
- ID-686：AR84は接続されたデバイスとしてのみサポートされます。
- ID-713：DXプリアンプ制御の修正。
- ID-616：ARリモートオーディオユニットへのファームウェアアップデートの提供。
- ID-722：I / Oパッチは、非プリアンプ接続への「ライブ」パッチを表示するようになりました。
- ID-714：グループにミキシングするときに入力フェーダーが正しく更新されるようになりました。

V1.0.1 メンテナンスリリース

- ID-704：使いやすさを向上させるためのI / O画面の更新。
- ID-537：追加されたライブラリを削除または上書きする前の確認。
- ID-626：ミックスチャンネルのPAFLがプリディレイをソースとするようになりました。
- ID-619：GEQにルーティングされたオープンステレオチャンネルにより、起動時にノイズが発生しました。
- ID-486：モノラルからステレオまたはステレオからモノラルに切り替えるときのプリアンプ制御ロジックを修正しました。
- ID-567：メインLRルーティングをリセットすると、フェーダー/オーディオの不一致が発生しました。
- ID-461：ステレオSQドライブ画面でチャンネル名が更新されるようになりました。

V1.0.0 SQミキサーの初期ファームウェアリリース